

研修や周知徹底ではなくならない盗撮 具体的で実効性のある再発防止策を

9月に校内の窃盗で逮捕された教員の、盗撮での再逮捕を受け、昨年度に引き続き教育委員会へ要望書を提出しました。

令和元年9月17日、奈良市の小学校教諭が校内における窃盗の疑いで逮捕されました。その捜査の過程で校内での盗撮が発覚し、10月4日再逮捕されました。盗撮により3年連続で教員が逮捕されるという由々しき事態を受け、11月23日(水)、奈良市PTA連合会は奈良市教育委員会に、「教職員による窃盗や盗撮について実効性のある再発防止策の策定」を求める緊急要望書を提出しました。

平成30年3月9日に、当連合会



中西寿人教育部長へ要望書を手渡す小川会長

は「スクール・ハラスメントに関する要望書」を教育委員会に提出しました。盗撮による教員の逮捕が続く、これ以上子ども達を傷付けなければならないという思いから、①被害児童の救済②スクール・ハラスメント防止のためのガイドライン作成と教職員への研修③スクール・ハラスメント発生時の対応マニュアルの作成を求める緊急要望書から、それに対する教育委員会からの回答は、人事課作成のガイドライン「セクシャル・ハラスメントの理解と発生防止のために」の内容で対象を児童生徒に置き換えて研修等に活用している。校長会・教頭会に活用している。伝達や教頭への研修、管理職から教員に周知徹底するよう指導を行っているというものでした。今回の事件は、その研修と周知徹底の最中に起こっており、子どもたちをこれ以上傷つけないでほしいという保護者の思いは、またもや裏切られる形となりました。

高市PT連発第24号
令和元年10月23日

奈良市PTA連合会
会長 小川泰二

教職員による窃盗や盗撮について実効性のある再発防止策を!!

昨年度連合会が提出した『メタルハラスメントに関する要望書』への回答にあった研修等の対策をとられていたにも関わらず、令和元年9月、奈良市の教員が校内での窃盗と盗撮で逮捕されました。もはや研修や周知だけではこのような事件を防ぐことができないのは明らかです。子どもたちが安心して過ごせるはずの学校で、信頼していた先生にこのような形で裏切られ、傷つくようなことは二度とあってはなりません。

他県の事件では学校現場のハラスメントに対する認識の甘さも指摘されています。学校任せにせず、全体的な取り組みで、具体的に実効性のある再発防止の体制を作っていくべく強く要望致します。

- 1 金庫の管理、個人のスマートフォンや撮影機器の扱い等についてのルールの策定
- 2 窃盗、盗撮防止のため、金庫周辺及び校内への防犯カメラの設置

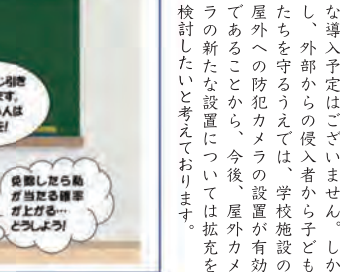
セキュリティポリシーの遵守を指示 (奈良市教育委員会より上記要望書への回答をいただきました)

1月6日付で、奈良市教育委員会より上記要望書への回答をいただきました。回答の全文を掲載します。

1 金庫の管理、個人のスマートフォンや撮影機器の取り扱い等についてのルールの策定

現金等を保管する金庫等の管理につきましては、十分な対策を講じ、再発防止を徹底するよう学校に通知いたしました。原則、学校においては現金を扱わないことになっておりますが、やむを得ず一部の現金を扱う場合にも、金庫等の開閉は管理職等のご複数人の確認のもとに行うこと、鍵の管理についても管理職が厳格に行うこと、また、現金取り扱いの時期や頻度を極力少なくすること等々のルールに基づき適正に取り扱うよう、今後も注意喚起を行ってまいります。

教職員の個人のスマートフォンや撮影機器の扱いにつきましては、「奈良市立学校園セキュリティポリシー」(平成24年1月策定)において、「教職員は、自ら所有す



PTA学級委員決め

学校校内への防犯カメラの設置は、防犯上有効である反面、子どもたちへの心理的な圧迫感やプライバシーへの配慮といった問題点も考えられ、現在のところ新たな導入予定はございません。しかし、外部からの侵入者から子どもたちを守るうえで、学校施設の屋外への防犯カメラの設置が有効であることから、今後、屋外カメラの新たな設置については拡充を検討したいと考えております。

子育て・エトセトラ

▼来年度の役員、もう決まった？

▼今、選考委員さんが動いているよ

▼うちは先週の懇談でワラズからの候補者が決まってるよ

▼四月になったからまた学級委員決めやね

▼今年は何とかならなくて大変だよ

▼最近あちこちで、PTA改革してるって聞くよ

▼役員や委員の仕事を見直してなるべく負担を少なくするように考えているんだけど...

▼他府県でも改革に取り組んでるPTAがあった、運営委員会を校長先生と話して合意の場に変えたこと、委員が毎年全員立候補で決まるようになったって

▼地域によって抱えている課題や事情は違うから、他で成功したやり方をそのまま持ってきてもうまくいくとは限らないけど

▼できない人に無理に背負わせなくていいように、免除の規定なんかなくても、みんなが気持ちよくできるよに考えていきたいね

前号でお知らせしてお伝えしていた令和元年度要望書の回答は、今回緊急に要望書を提出したため紙面でお知らせできませんでした。ホームページにてご確認ください。

子どもたちが安全な場所での安心して学校生活を送れることは最低限守られなければならない権利です。そしてその権利を守ることはPTAにとつて最大の目的はです。学校の環境や教育にぜひ興味関心を持ちましょう。最終的に自分の子どもを守るには、私たち親なのですから。

みんなで学べる研修会 人に愛される子を育てる ~魔法のアドバイス~ 第4回全会員対象研修会



倉田先生の親しみやすいお人柄とお話に、「まるでママ友としゃべっているような感じ」との声も

11月1日(金)なら100年会館中ホールにて、「みんなで学べる研修会」を開催しました。今年は漫画家の倉田真由美先生をお招きし「講演いただきました」。

まずは自分が楽しく生きると

今年で3年目を迎える全会員対象研修会は、昨年より「みんなで学べる研修会」と名称を変え、今回4回目の開催となりました。お招きした漫画家の倉田真由美先生のお話に200名を超える会員が耳を傾けました。ここに講演内容の一部を紹介いたします。

親も子どもも自分の思い通りにはならないものです。人は人の力では変えられないという大切な大前提として、親から受ける影響は大きく、親から伝えられたメッセージはずっと生きています。それは言葉で伝えたものだけとは限りません。子どもにこうあってほしい、こういう風にしよう、と伝えていけばいいのでしょうか。

楽しみながらストレスなく生きる

まずは自分自身が楽しく生きる子育てをしましょう。少なとも苦しい思いをしないように、自分自身が楽に生きるためにどうしたらいいのかを一番の要因は人間関係を紹介いたします。

子どももちょっとだけ自我が通せる子に

子どももちょっとだけ自我が通せる子にしなければいけません。いつも損する側の人間にならないように、ちょっとだけ自我を通せる癖を付けられ、ストレス少なく生きていることが大切です。ちょっとだけワガママに生きる生き方が子どもに伝わらなければ、いけません。ワガママに生きる生き方が子どもに伝われば、いかに嫌われないで済みます。ワガママに生きる生き方が子どもに伝われば、いかに嫌われないで済みます。

参加者の感想

仕事と子育てでストレスがいっぱいあり、倉田先生の話を聞いてから胸がスーッと軽くなりました。楽しく生きるヒントもいただきました。

自分がストレスなく生き生きした姿を子どもにも見せる事が大切なんだと思いました。

少し思っていたのと違ってた方法を開かせてもらいました。

第4回幼・小合同部会 発達障害への理解を深めよう

11月27日(水)奈良市中公民館ホールにて幼・小合同部会を開催し、発達障害についての学習会を行いました。

当日は、奈良市教育センター 教育支援・相談課 教育相談係 指導主事の中川聡之先生をお迎えし、主な発達障害の概要と理解や支援の仕方、学校現場での支援の例などについて講演いただきました。

《発達障害の定義》

発達障害とは、発達障害者支援法では「自閉症・アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であつてその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されています。脳機能の障害により物の感じ方、考え方に一部分だけ偏りが生じるもので、複数の障害が重なって現れることや障害の程度や年齢環境によって症状は異なり、その特性は多種です。

果物のスライドを使い、物の覚え方のゲームをする中川聡之先生

発達障害者支援法では「自閉症・アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であつてその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるもの」と定義されています。脳機能の障害により物の感じ方、考え方に一部分だけ偏りが生じるもので、複数の障害が重なって現れることや障害の程度や年齢環境によって症状は異なり、その特性は多種です。

《小中学校における障害理解の取り組み》

- ・ 学習活動全体を通しての相互協力と理解
- ・ 特別の教科、道德の時間での学習
- ・ 全校集会や全校放送を通しての啓発

例えば低学年では「みんなひとりひとり違って、いて当たり前で、ひとりひとり大切な命です。学校はいろんなお友達がいる、いろんなお友達と一緒に勉強するところです。勉強する場所や勉強の仕方もいろいろです。教室で勉強するお友達やニコニコ教室(特別支援学級)で勉強するお友達もいます。みんないろんな頑張りをしています。...いろいろな相互理解を深めていきます。人にはそれぞれ違った個性や育ちがあり、それぞれの個性や育ちに合わせた学習や支援をしています。

※発達障害の特徴と対応策の詳細は次号の広報紙でお知らせします。

「長いトンネルを抜ける」

そこは雪国だった。「吾輩は猫である。名前はまだない。これは川端康成の『雪国』夏目漱石の『吾輩は猫である』の冒頭部分です。ご存知の方も多分です。先日、本屋で目に留まった『最後の一文』という題名の書。日本語表現学の半井幹一教授が書かれた最後の一文、知っているですか？名作の終わり方、知っているか？と書かれています。確かに最初の一文には名文が多く記憶に残るものがたくさんあります。物語のラストがどうなったかは覚えていても最後の一文は記憶にありません。●例えば、吉本ばななさんの短編小説『キッチン』は「私がこの世で一番好きな場所はどこかと思う。」で始まります。最後の一文は「夢のキッチン。私はいくつもいくつもそれをもつたろう。心の中で、あるいは実際にあるいは旅先で。...」と続きます。本文中には「台所」が32回、「キッチン」が1回現れるのですが、「キッチン」という語は、結果に初めて出てきてこの本のタイトルとなっているのです。●半沢教授は「キッチン」はあくまでも「夢のキッチン」で、ヒロインが生きているうえで望ましい場所だ。現実と非現実の場所を区別するために「台所」を「キッチン」に置き換えたのだらうと考察しています。●確かにこの最後の一文は若きヒロインの未来への夢や希望を感じさせ、読み終えた後に清々しい気持ちにさせてくれます。最初の一文は、物語に導入していく役割から記憶に残るものとなるのかもしれない、最後の一文は物語を読み終えた余韻とそのストーリーを心に刻み込むためのものかもしれません。●卒業生の皆さんは、残り少ない学校生活の最後にどのような一文を記すのでしょうか。輝かしい未来への希望溢れる一文となることを祈っています。

編集後記

「長いトンネルを抜ける」

そこは雪国だった。「吾輩は猫である。名前はまだない。これは川端康成の『雪国』夏目漱石の『吾輩は猫である』の冒頭部分です。ご存知の方も多分です。先日、本屋で目に留まった『最後の一文』という題名の書。日本語表現学の半井幹一教授が書かれた最後の一文、知っているですか？名作の終わり方、知っているか？と書かれています。確かに最初の一文には名文が多く記憶に残るものがたくさんあります。物語のラストがどうなったかは覚えていても最後の一文は記憶にありません。●例えば、吉本ばななさんの短編小説『キッチン』は「私がこの世で一番好きな場所はどこかと思う。」で始まります。最後の一文は「夢のキッチン。私はいくつもいくつもそれをもつたろう。心の中で、あるいは実際にあるいは旅先で。...」と続きます。本文中には「台所」が32回、「キッチン」が1回現れるのですが、「キッチン」という語は、結果に初めて出てきてこの本のタイトルとなっているのです。●半沢教授は「キッチン」はあくまでも「夢のキッチン」で、ヒロインが生きているうえで望ましい場所だ。現実と非現実の場所を区別するために「台所」を「キッチン」に置き換えたのだらうと考察しています。●確かにこの最後の一文は若きヒロインの未来への夢や希望を感じさせ、読み終えた後に清々しい気持ちにさせてくれます。最初の一文は、物語に導入していく役割から記憶に残るものとなるのかもしれない、最後の一文は物語を読み終えた余韻とそのストーリーを心に刻み込むためのものかもしれません。●卒業生の皆さんは、残り少ない学校生活の最後にどのような一文を記すのでしょうか。輝かしい未来への希望溢れる一文となることを祈っています。

今年も力作揃う！ 読みたくなる広報紙を目指して

- 花印 6校園7点
 - ひろば 244号・245号 (富雄北幼稚園PTA)
 - 星の子 2号
 - すぎの子 197号 (東登美ヶ丘7丁目園PTA)
 - 西大寺北幼稚園PTA
 - おのみや 151号 (大宮小学校PTA)
 - せせらぎ 212号 (明治小学校PTA)
 - 葦牙 156号 (富雄中学校PTA)

PTA広報紙の役割

- ① PTAという一つの組織(団体・会)のための機関紙として、会の活動や発展・成果を会員全員に知らせる
- ② PTAの歩みを記録する
- ③ 学校や教育環境をより良いものにする手助けをする
- ④ 会員の学校・教育に関する意識の向上を図り、理解と相互協力の場を作る

あなたが決める No.1 広報紙

昨年度より、広報紙展示会来場者に自校園以外の広報紙で一番良かったと思う広報紙に投票していただいています。

第1位 得票数(17票)
富雄中学校PTA 葦牙 155号



第2位 得票数(12票)
富雄中学校PTA 葦牙 156号



第3位 得票数(9票)
神功小学校PTA 神功 118号



第32回単位PTA発行広報紙展示会反省と研修会

10月18日(金)、21日(月)、24日(木)の3日間、エルトピア奈良にて「第32回単位PTA発行広報紙展示会反省と研修会」を開催しました。

花印の広報紙をスライドに写し、企画の立て方や仕事をしながら活動する工夫や課題などをインタビューし、参加者で共有しました。

この研修会は、過日開催された「単位PTA発行広報紙展示会」を受けて毎年開催しているもので、3日間で、名の参加がありました。出品作品の良かった点や気になった点についての研修や、花印校園の広報委員さんや役員さんからの悩み、大変だったことや工夫している点、役員・学校園との関わり方などをうかがい、参加者全員で情報共有しました。また、展示会で観覧者全員に投票してもらった「あなたが決めるナンパワーン広報紙」(自校園の広報紙以外で「この広報紙面白い」「こんな広報紙作りたい」と思う広報紙)の結果発表も行いました。

最近のPTA広報紙の傾向

《幼稚園・こども園》
最近の広報紙の傾向としては、パソコン編集が増え、様々な表現が可能になった。写真の印刷がきれいになった。デザイン系のスキルを持っていての方が活躍され、デザイン性が高くなった。運動会では直前のお知らせで、演技の見どころや観覧マナーなどを伝える単Pが増えてきた。

《小学校・中学校》

カラー刷りの広報紙が増えた。割り付けをデザイン会社に依頼するところも増えてきており、デザイン性が高くなった。子どもたちの生き生きとした写真が多い。また、気になる点としては、発行回数が減ったために、学校行事を中心に掲載している「学校新聞」が増えた。写真の分量が多く、記事の分量(文字)が極端に少ない。カラー刷りの広報紙が増え、色の多用が目立つ。見出しや写真のキャプション(写真説明)の工夫が必要などがあります。写真に効果的なキャプションを付けるよう。

今回の出品作品の中には写真のキャプションが抜けていた校園が多かったことから、研修会の最後にキャプションを付ける練習をしました。3日間と長い展示会だったので、様々な情報を盛り込んだキャプションを作成しました。また、気になる点としては、発行回数が減ったために、学校行事を中心に掲載している「学校新聞」が増えた。写真の分量が多く、記事の分量(文字)が極端に少ない。カラー刷りの広報紙が増え、色の多用が目立つ。見出しや写真のキャプション(写真説明)の工夫が必要などがあります。写真に効果的なキャプションを付けるよう。



今年も工夫を凝らした 広報紙が勢ぞろい

市P連加盟の単位PTAが発行する広報紙が一堂に集まるこの展示会には、三日間で25名の参加者が訪れ、連日にわたり見せました。会場に貼られた78校園66点の広報紙はどれも見ごたえがあり、メモを取ったり、質問をしたりしながら熱心に見て回る姿が多く見受けられました。

中学校の部では保護者の関心が高い進路について取り上げた広報紙が多く、会員さんが知りたい情報を伝えるようとする意欲が感じられました。幼稚園・小学校の部は子ども達の様子を伝える広報紙が多くみられました。

市P連広報委員、役員・事務局が「読みたくなる広報紙・会員のためになる広報紙」として選んだ6校園7紙の広報紙に花印が付けられた様子の広報紙として17校園18紙の広報紙に星印が付けられました。また来場者に自分の校園以外の広報紙に一番良かったと思う広報紙に投票してもらった「あなたが決めるNo.1広報紙」も昨年度に引き続き実施され、葦牙(富雄中学校PTA)が一位二位を独占する結果となりました。

(三位までの結果は左記。詳しくはホームページにて)

星の子2号 東登美ヶ丘こども園PTA

両面、防災の特集です。普段からの準備や心構え、100円ショップで購入できる防災グッズなどを紹介しています。

すぎの子197号 西大寺北幼稚園

一面は絵本の読み聞かせの特集です。図書館司書による絵本講習会から広げて、子育て中の読み聞かせについての園長先生へのインタビューや地域の方とPTAが行っているおはなし会の取材記事で構成され、わかりやすくてまとまっています。二面は、夏休みの預かり保育の紹介や、今年度からの新しい取り組み、誕生会終了後の誠に謝意を伝えるメッセージが並び、読み聞かせの大切さや、子どもたちの成長を応援する気持ちが伝わってきます。

おのみや151号 大宮小学校PTA

一面トップは運動会。写真を精査し、記事でしっかりと内容を伝えていきます。二面は80周年記念特集です。時代によって変化していった項目を選び、それぞれの時代の卒業生に質問しています。児童数の推移や23年当時の写真、校内にある像の説明など、会員さんにとっては興味深い内容だったのではないかと感じました。

花印 中学校の部 葦牙156号 富雄中学校PTA

一面の総会記事は、グリーンを基調にすっきりとまとまっています。記事もしっかりと書かれています。見聞きは高校見学会に絡めた進路特集です。各校の特徴がきれいな写真とともに詳しく紹介されており、見学会に参加できなかった会員さんにもよく分かる内容です。進路の先生のお話も夏休み前の受験生に響いたのではないかと感じました。

花印 幼稚園の部 ひろば244号 富雄北幼稚園PTA

244号は食育教室について、きれいな写真と手描きのイラストを交えて伝えていきます。二面では、運動会の見所やがんばるところを先生に聞いています。運動会が楽しみになるような記事です。

星の子 2号

一面は絵本の読み聞かせの特集です。図書館司書による絵本講習会から広げて、子育て中の読み聞かせについての園長先生へのインタビューや地域の方とPTAが行っているおはなし会の取材記事で構成され、わかりやすくてまとまっています。二面は、夏休みの預かり保育の紹介や、今年度からの新しい取り組み、誕生会終了後の誠に謝意を伝えるメッセージが並び、読み聞かせの大切さや、子どもたちの成長を応援する気持ちが伝わってきます。

花印 小学校の部 おのみや151号 大宮小学校PTA

一面トップは運動会。写真を精査し、記事でしっかりと内容を伝えていきます。二面は80周年記念特集です。時代によって変化していった項目を選び、それぞれの時代の卒業生に質問しています。児童数の推移や23年当時の写真、校内にある像の説明など、会員さんにとっては興味深い内容だったのではないかと感じました。

せせらぎ212号 明治小学校PTA

一面は給食の特集です。栄養士の先生に給食についての素朴な疑問に答えてもらっています。改めて聞いてみると知らないことが多かったのではないのでしょうか。『むかし給食にタイムスリップ』では30年間の給食の歴史について調べています。二面は防災常識といわれるものは時代によって変わるものですが、行動とグッズに分けて今の常識を紹介しています。